



全体会議10月

未来の交通を考える

10月24日(火)、まちづくりステーション小名浜において全体会議が開催されました。

今回のテーマは、「小名浜の交通を考える」です。講師にいわき市議会議員小野潤三氏をお招きし、「都市部の域内交通」という視点からご講話頂きました。



「3つの交通計画」を策定し実現に向けて取り組んでいます。しかし「都市部の域内交通」は十分に構想されていません。

さらに、たくさんの方の証実験も行っていますが、こちらほとんど社会実装に至っていないとのこと。

そのような中で、今後は、ターゲットを明確にして綿密なニーズ調査を行い、特に高齢者などの交通弱者の足を確保する交通手段を確立できるようにすること。

行政の財政支援や関係部署と連携をとり、事業者、利用者がアイデアや要望を出していくことが大事であることを詳しくお話していただきました。

「都市部の域内交通」を実現するために、たくさんの方の知見を出し合い、他市の交通の調査や視察をし、いわき市の未来のために活動していただくことを知ることができました。そして小野氏からは、小名浜のまちに沿った要望を集めるニーズ調査においては、「小名浜まちづくり市民会議」にも協

発行所
小名浜まちづくり市民会議
TEL: 52-1275

発行日
令和5年11月20日

力して欲しいと話していただきました。

いわき市は、海あり山ありの広い地域です。少子高齢化という課題もあります。その中でそれぞれの地域の特性に沿ったすべての人に優しい交通とまちづくりができるように、さらに小名浜のまちが活性化していくように、小名浜地区の皆さま

海神ネプチューン大学運動会



10月14日(土)に岩間海岸にてネプチューン大学運動会が開催されました。

いわき市内の親子14組32名、いわき秀英学園学生14名を含むボランティアスタッフ21名、総勢53名が参加しました。午前9時に岩間海岸に到着後、次の種目で競技が行われました。

種目① プラごみバケツリレー 走者はバケツを持ってプラごみを集める↓集めたごみを袋に入れて次の走者に渡す。早く終了したチームが勝つ。

種目② プラごみビンゴ 参加チームに1枚ビンゴシート(写真参照)を渡す。↓ビンゴシートに書かれた

んの声を聴きながら「小名浜まちづくり市民会議」は活動していきたいと思えます。



小名浜港を知ろう

小名浜港の取り扱い貨物の60%が石炭です。平成23年には「国際バルク戦略港湾」に選定され、平成25年には「特定貨物輸入拠点港湾」に指定されています。

その後、小名浜マリナーリッジの先に、人工島にて「小名浜港国際バルクターミナル」が全面共有開始となりました。不定期ですが、小名浜マリナーリッジを歩くことが出来ます。岸壁から見る海とは、また違った景観が楽しめます。

ごみを集めて担当者にチェックしてもらおう。↓コンプリートしたカードが多いチームが勝ち。

種目③ プラごみ玉入れ競争 ③自分のチーム以外のごみを入れる。↓時間内でごみが少なかったチームが勝ち。

参加者を青色、赤色、黄色の3チームに分け、対抗戦で行われましたが各競技でそれほど差がつかず、引き分けとなりました。実施場所の岩間海岸は漂着ごみが多く見られ、各競技だけでは拾いきれないほどの量がありました。運動会後は全員で40分ほど海岸の清掃活動を行い、運動会も含めて燃えるごみ50袋、燃えないごみ10袋と非常に多くのごみを集める事ができました。



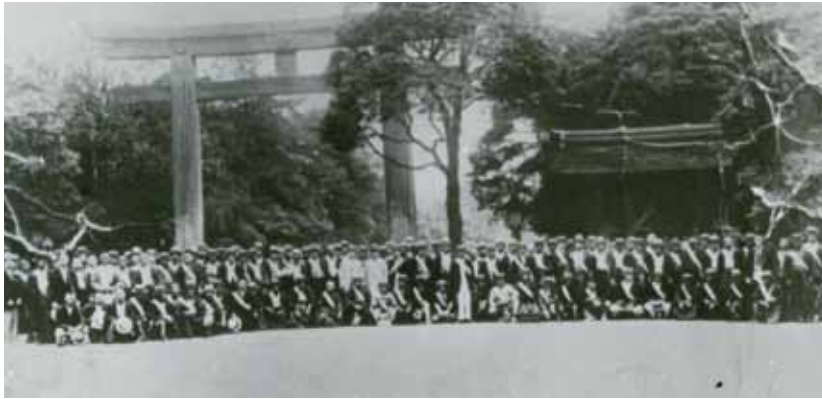
小名浜港国際バルクターミナルの稼働により、石炭輸送の大型船が入港できるようになり、東日本のエネルギー供給拠点となっているのです。

↓次号につづく。

運動会当日は天気も良く汗ばむ陽気となりました。楽しい競技を通して多くのごみを集めることが出来、参加された皆さんからは満足の笑顔を見ることが出来ました。最後に収集したごみと一緒に集合写真を撮影して終了となりました。

ペットボトル 5こ	黒いプラごみ 4こ	乾電池 4こ
赤いプラごみ 3こ	びん 2こ	緑のプラごみ 2こ

▶ ゲームで使用したビンゴカード



明治神宮に集合した白禪隊 昭和4年7月22日

昭和4年(1929)7月2日、田中(政友会)内閣が総辞職し浜口(民政党)内閣となった。新内閣は軍備縮小・財政整理などの緊縮財政を看板政策としていた。小名浜商港修築予算(国費・県費・浅野総一郎の寄付)の大本である国費の大幅削減と繰延が懸念された。小名浜町民は「築港中止」に狼狽

9日、小野晋平と高木助役と小野務平以下町議5名の7名が内務省・大蔵省を伺い、11日には鈴木町長と立花以下町議13名が上京し第一次7名と合流して陳情をおこなった。前政権下の事業の見直しの最中だったこともあり今後の見通しは暗かった。

13日、小名浜小学校講堂に約一千名が集まり小名浜郵便局長・鈴木富太郎が議長となり町民大会(19時開会)23時散会が開かれた。決議文「小名浜町民は小名浜商港の中止延期に反対なり依って極力施行続行を再考せられたし、右町民大会の名に依って決議」が作られ、翌14日委員50名(飯塚栄一郎、福尾伊太郎、西丸猛、丹野寛平他)が小柳新任知事に提出した。別働隊50名も組織された。小柳知事は県費の支出増を検討するが、国費の確定なしには出来ない事が

築港の先人…小野晋平と賢司…

小野 浩

小野晋平翁 没後80年 特別企画④

と分かり、内務省(本庁)に21日、陳情することにした。19日、大蔵省の査定は、小名浜商港修築予算は全額削減だった。

残された道は、直接行動だった。20日の町民大会の決議により組織された「小名浜港修築継続訴願団」12名は、22日午前2時55分、湯本駅を出発、8時30分日暮里駅で乗り換え原宿駅下車、明治神宮で在京中の陳情隊(5名)と合流して、9時、飯塚栄一郎団長を先頭に羽織袴に白禪をかけ参拝後に内務省と大蔵省に向かったのだ。

だが、日比谷警察署の注意を受け、白禪を外し午前11時、20台の車に分乗する。内務省では、代表20名が次官に陳情の趣旨を述べ、大蔵省でも次官に会見、内相官邸では内相代理と会見。陳情書と決議書を提出したのだ。内相代理は「大蔵省査定について目下交渉をしているからできる限り尽力をするつもりである。」と回答した。

30日、本年度国庫補助額当初63万円が5万円の復活が確定した。小名浜商港工事続行が認められたのだ。

大人の遠足 小名浜みなと学 事始め2023秋

10月7日(土) 秋晴れの最高のお天気の日。お得でプチリッチな大人の遠足「小名浜みなと学」事始め2023秋が開催されました。福島県内から13名の参加がありました。遠くは福島市内からのご夫婦も来ていただきました。小名浜まちづくり市民会議の歴史・文化づくり委員会が案内を務め、三崎公園内の潮見台やマリントワーを見学しました。この日は、風が強く、予定していた遊覧船の乗船が出来ませんでした。落語家の武相亭八木助さんに



10月14日(土)、小名浜富ヶ浦公園の草刈り清掃を行いました。約30名が参加しました。年2回行ないますので、ぜひご参加ください。

随時 FB に活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、いいね！してください。

マイメイドの ささやき

1年365日のうち、人それぞれのイベントが年に何回かあるはず！
私の一大イベントと言えば、年末年始!!これにつきます。年々、環境が変わっていくかわり、イベント内容も変わっていく。それはうれしで変化を楽しむのも有り。今年の年末年始は何をしよう…。それを考えるだけで、ワクワク感がたまらない。数年前は、愉快な母上様がダンスを披露してくれたなあ！

よきよき H.S

小名浜まちづくり 市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

人力戦艦!? 汐風澤風

YOUTUBE 配信はこちらから



会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3000円 企業会員：30,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込み：いわき市小名浜字本町 11-1 (まちづくりステーション小名浜)
TEL：52-1275 FAX：52-1415
http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp